

スペシャル インタビュー

～ペーパー化技術でお客様の
製品をよりベストに～

オリベスト株式会社

代表取締役社長 津村 知範 氏

聞き手 帝国データバンク滋賀支店長 内藤 壇



無機繊維・機能紙のトップメーカーとして60年余りの業歴を誇るオリベスト株式会社。代表の津村知範氏にこれまでの取り組みと、今後の展望についてお話をお聞きしました。

——創業からこれまでの経緯をお聞かせください

当社は「被覆銅板用基材」（断熱・結露防止・防音などを目的として金属屋根の裏面に施工される建材）メーカーとして、1966年に京都市で創業しました。創業から7年後の73年に当地へ移転し、現在は様々な「機能紙」を開発・製造しています。「機能紙」とは、ガラス繊維やカーボン繊維などの無機繊維や有機繊維、粉体などを当社独自の技術で「ペーパー化（紙化）」したものです。創業から現在まで「お客様重視」の精神を基本に、様々なご要望に対応することで国内トップシェアを誇り、海外でも幅広くご使用いただいています。

ペーパー化することで得られる機能は、吸着性、補強性、耐熱性、難燃性、含浸性、耐食性、寸法安定性、抗菌性など多岐にわたり、住宅建材や室内機器、オフィス、医療・福祉施設、各種産業機器など幅広い分野で活用されています。

設備は、無機・有機繊維紙の生産ラインを5

基、無機粉体の高充填紙生産ラインを1基保有し、主力のガラス繊維紙の生産の能力は約1,300万㎡/月です。

——建材向けや電材向けなど、幅広い業界で使用される「機能紙」についてお聞かせください

「機能紙」は、創業当初はなかなか普及しませんでした。元々は金属屋根の裏打ち材からスタートした会社ですので、建材向けガラスペーパーから始まり、様々な業界で使用されるようになり、ガラスペーパーの販売量は徐々に拡大していきました。受注量の増加とともに、大阪、埼玉などに拠点を開設、本社工場の増築を行い、2017年には能登川工場を開設しました。

現在の当社の売上シェアの約70%が建材で、他に電子材料、フィルター用途などがあり、当社製品のほとんどが得意先との共同開発品です。共同開発の大まかな流れは、①機密保持契約（覚書）を交わした上で、②原材料選定及び

製品設計を行い、③ラボ評価します。④実機での試作の後、⑤量産化となります。②～④までのプロセスでお客さんとミーティングを重ね、製品を創りあげていきます。特に重要なのは、お客様の加工方法への対処や最終製品の特性を最大限に発現させること、これこそが当社の腕の見せ所と言えます。



オリベスト本社

——ガラス繊維紙では、国内シェア80%と高い占有率ですね

ガラス繊維紙は、寸法安定性に優れ、建材用途をはじめ、電子材料用途、フィルター用途など、様々な分野でご使用いただいています。建材や電子材料の寸法変化（反りや収縮）を防止する役目を担っています。

また、湿式製法で均一性に優れ、平滑性や厚み精度に厳しい分野においても、国内外問わず安心して加工ができる点を高くご評価いただいています。例えば、ガラス繊維と結合剤の仕様を変えるだけで大きく製品の特性は変化します。これは、現在まで当社に蓄積された経験やノウハウが製品開発や改良に活かされるためです。お客様に寄り添い、共同開発を行うスタイルが当社の強みです。

——共同開発はどのように始まるのでしょうか？

お客様から「こういった特性をもつ紙を作れないですか？」「こういう素材をシートにできないですか？」といったご相談がスタートになります。例えば、「反りの出ない建材を作りたい」「脱臭効果のあるペーパーを作りたい」といったご要望をお聞きして、当社がもつ原料を使用して試作品を作ります。

大手企業では大ロット対応が中心になります

が、当社は小ロットにも対応しており、お客様のご要望に柔軟に対応できることが強みです。また、いったん採用されると、お客様の製品が作り続けられる限りは当社へ発注していただけますので、とても息の長い製品となることが多くなります。

このような流れで製品化されますので、基本的に汎用品はなく、大半が専用グレード品（お客様仕様の製品）です。既存のお客様が新製品を開発される際にもご相談いただけることが多く、長いお付き合いのお客様が多いことも当社の特徴です。

——代表に就任されてから、新たに取り組まれたことをお聞かせください

2021年に先代から代表に就任し、当社が目指す理想像を経営理念として策定しました。

＜経営理念＞

- 「働くことに誇りを持てる企業であること」
- 「全てに対して誠実な企業であること」
- 「社員を大切にする企業であること」
- 「お客様から愛され続ける企業であること」

「お客様から愛され続ける企業であること」は、創業時から継承してきた言葉（スローガン）

で、3つの言葉を私が加えました。これらの言葉は、お客様、従業員だけでなく、すべてのステークホルダーに向けた言葉です。

お客様のご要望に的確にお応えするには、営業、技術グループ（開発）、生産グループ（量産）の連携がとても重要です。かつては、各部署が本社内の別々のフロアに分かれていましたが、私が代表に就任してからは、全本部を1つのフロアに集約させました。何か相談したいことがあれば、顔を合わせてコミュニケーションでき、できるだけ早い段階で解決できる点が大きなメリットです。

最近の取り組みとしては、従業員に無記名でのアンケートを行い、吸い上げた意見を基に業務改善を行っています。例えば、人手が足りない生産ラインにヘルプで入ってもらった場合、以前は手当が付かなかったのですが、アンケートの結果、ヘルプ手当を希望する従業員がいることがわかりました。このため、手当制度を導入したところ、ヘルプ要員として手を挙げてくれる従業員が増えました。

また、コロナ禍以降は役員の工場巡視を中止していたのですが、アンケートでは「社長の顔が見えない」といった声がありました。そのため現在は、毎週のように工場を定期巡視しており、オリベストの2工場だけでなく、埼玉県ของกลุ่ม会社へも足を運んでいます。

アンケートは無記名で行ったこともあり、会社への不満も多く聞かれましたが、改善を進めた結果、離職者が減少し、従業員の会社に対する帰属意識が高まったと感じます。従業員は野洲工場周辺の在住者が多いので、従業員を長く雇用することが地域貢献にもつながっていると思います。

——地域企業に対するメッセージをお願いします

当社は、「世の中に無い紙」を創出する企業です。当社が60周年を迎えられたのは、お客様やサプライヤー様、地域企業、地域の皆様のご協力とご支援の賜物です。

これまでは、お客様からのご依頼に応じた製品開発を行ってきましたが、これからは何でもやってみる「チャレンジ精神」で、自ら開発することにも挑戦したいと考えています。最近では、長年培ってきた抄紙技術で「ホタテ貝」「卵の殻」「コーヒーの搾りカス」などの廃棄物をペーパー化するなど、SDGsへの取り組みも始めました。

これからも「地域と共に生き、地域と共に栄える」という思いを大切に、地域の暮らしや地域の産業を支えるパートナーとして、小さな改善や挑戦を積み重ねる事でお役に立てる企業でありたいと考えています。

（文／京都支店 情報部 野田 圭祐）

会社概要

TDB企業コード：550023811

法人番号：6160001015554

事業内容：ガラス繊維紙、ミネラルペーパー、炭素繊維紙、有機繊維紙など機能紙の製造

所在地：滋賀県野洲市三上2110

電話：077-587-0634

設立：1966年（昭和41年）4月

従業員数：190名

URL：<https://www.oriwest.co.jp/>

津村 知範 氏プロフィール

1990年生まれ。大学卒業後、2013年当社に入社。取締役管理本部長、常務取締役を歴任し、2021年6月より現職。関係会社のオリエンタルメタル株式会社の代表を兼務。